

# 自動運転時代のドライブレコーダーとデータ活用V ～モビリティDXによる交通事故ゼロへの挑戦～

9/18 (木)  
15:00-18:00

会場 : 東京農工大学工学部  
講義棟L0026 + オンライン開催  
参加費 : 無料

本学スマートモビリティ研究拠点では安全・快適で持続可能なモビリティ社会の実現に向けて、公的資金の獲得や民間企業との大型共同研究によりスマートモビリティに関する産官学研究プロジェクトを推進してきました。2005年に映像記録型ドライブレコーダーによるヒヤリハットデータ取得を開始して 20年の節目を迎えた今回は、発足から今日に至るまでの経緯をベースに紹介するとともに、モビリティDX化の今後について討論します。

## プログラム

※プログラムは講師の都合で予告なく変更となる場合があります

- 第1部** 司会 ポンサトーン・ラクシンチャラーンサク (東京農工大学 教授)
- 15:00 開会挨拶 千葉 一裕 (東京農工大学 学長)
- 15:10 来賓挨拶 久保田 秀暢 (国土交通省 物流・自動車局 次長)  
鎌田 実 (一般財団法人日本自動車研究所 代表理事 研究所長)
- 15:25 ヒヤリハットデータ収集と活用の20年 永井 正夫 (東京農工大学 名誉教授)
- 15:55 モビリティ映像とマルチモーダルAIの交差点 黒川 茂莉 (株式会社KDDI総合研究所)
- 16:15 (休憩)
- 第2部** 司会 毛利 宏 (東京農工大学 名誉教授)
- 16:25 自動運転を取り巻く法的環境と今後の課題 松尾 芳明 (ウーブン・バイ・トヨタ株式会社)
- 16:45 マルチエージェント交通シミュレータを用いた タイ・バンコク市街における交通流再現の試み 味村 嘉崇 (株式会社本田技術研究所)
- 17:05 ドライブレコーダーの走行データを活用したモビリティDXの研究 ポンサトーン・ラクシンチャラーンサク (東京農工大学 教授)
- 17:25 総合討論
- 17:55 閉会挨拶 ポンサトーン・ラクシンチャラーンサク (東京農工大学 教授)

参加方法とお申込み ※お申込締切 9/17(水)17時まで

URLまたはQRコードよりお申込みください

<https://forms.gle/Wf71ef9dDceZ88Fz6>

定員 会場100名・オンライン150名(先着順)



TUAT  
Tokyo University of Agriculture and Technology

お問合せ 東京農工大学ディープテック産業開発機構 フロンティア研究環 スマートモビリティ研究拠点

✉ mobility@cc.tuat.ac.jp ☎ 042-388-7176

協賛 公益社団法人自動車技術会, 一般社団法人ドライブレコーダー協議会

